

2004年度
多摩社会人庭球連盟總會資料

The logo consists of the letters 'TST' in a bold, black, serif font, centered within a thin black circular outline.

TST

'05年3月12日

多摩社会人庭球連盟

<http://www.tamashaka.org>

- 目 次 -

頁

1 . 総会議事次第	1
2 . '0 4 年度事業実績関連	2 ~ 4
3 . '0 5 年度事業計画関連	5 ~ 8
4 . '0 4 年度大会結果	9 ~ 35
5 . '0 5 年度多摩社会人庭球連盟会則 & 大会規則	36 ~ 44
6 . 多摩社会人庭球連盟更新 (新規) 登録	45 ~ 48
7 . '0 4 年度総会案内	49 ~ 50
8 . 第 3 7 回ダブルス選手権大会要項	51 ~ 52

2004年度 多摩社会人庭球連盟総会 式次第

開会の辞	司会 吉村 理事長 中込 副理事長
会長挨拶	石井会長
議長選任	萩原 副理事長
事業報告 及び 審議	
. 04年度事業報告	
-1. 第79回大会（春季）結果	丸山 大会委員長
-2. 第80回大会（秋季）結果	丸山 大会委員長
-3. 第36回ダブル選手権大会結果	武藤 大会委員長
-4. 第41回（春季）.第42回（秋季）OLリーグ 結果	高木 大会委員長
. 04年度会計報告	
-1. 一般会計報告	中込 副理事長
-2. 特別会計報告	中込 副理事長
. 会計監査報告	沖津 監事
. 05年度役員人事（案）承認	石井 会長
. 05年度OLリーグ規約改定審議	石井 会長 高木 大会委員長
. 05年度新規加盟チーム審議	石井 会長
. 05年度事業計画（案）	石井 会長
-1. 第81回（春季）.第82回（秋季）大会	（丸山 大会委員長）
-2. 第37回ダブル選手権大会	（武藤 大会委員長）
-3. 第43回（春季）.第44回（秋季）OLリーグ	（高木 大会委員長）
. 05年度予算（案）	中込 副理事長
質疑応答	
閉会の辞	萩原 副理事長
第81回大会（春季団体戦）打ち合わせ	各団体

04年度事業報告

- 1. 第79回大会（春季）結果（P9～14参照）

大会期間 3月20日（土）～7月4日（日）

担当役員 丸山大会委員長、前川大会副委員長

望月、市川、中原、柏崎、鈴木 各理事

大会結果

部	優勝	準優勝	部	優勝	準優勝
1	フェアリーFS	グランドスラム	9	ヴィネ	AtoZ
2	ローランギャロス	浅間TC	10	チーム60	八王子高陵OB
3	秋川TC A	ブリヂストンA	11	多摩風TC	藤の台TC C
4	日野オフセット	日立デセ	12	ヤマヒロ	50's倶楽部
5	NEC府中	瀬川TC	13	Grampus	ウエストサイドB
6	立川ルーデンスB	NSW	14	AlmaFTT	南大沢TC C
7	多摩TC B	RTC	15	アフターTC	e-TC
8	中大教職員	青梅TC C			

表彰式 7月16日（金） 昭和館（昭島）にて実施

- 2. 第80回大会（秋季）結果（P15～20参照）

大会期間 8月28日（土）～12月4日（土）

担当役員 丸山大会委員長、前川大会副委員長

佐藤、宮下、桜井、須貝、村松 各理事

大会結果

部	優勝	準優勝	部	優勝	準優勝
1	フェアリーFS	ローランギャロス	9	チーム60	Egalite
2	Team TODAY	立川ルーデンスA	10	秋川TC B	藤の台TC C
3	GC	鉄道総研A	11	ヤマヒロ	TCポチ
4	羽沢倶楽部A	HCR	12	ジョイブルドン	SNC
5	オークTC	コニカミルタB	13	AlmaFTT	フロム
6	多摩TC B	F.MATE	14	アフターTC	e-TC
7	スティングー	リーズ 72	15	チームC・C	ラケットーズ
8	ヴィネ	カシオC			

表彰式 12月4日（土）昭和の森テニスコートにて実施

- 3. 第36回オープンダブルス選手権大会結果（P21～33参照）

大会期間 8月28日（土）～9月19日（日）

担当役員 石井大会会長、武藤大会委員長、山崎大会副委員長、中込、吉村、萩原、

内田、沖津、平岡、柏崎、市倉、斉藤、高木、安井、丸山 各理事

大会結果 294ペア参加（前回大会：311ペア）

種目	参加ペア	優勝	準優勝
男子A	43	依田・西山（緑ヶ丘TC・藤の台TC）	桐生・中島（高幡TC）
男子B	82	逸見・新井（鉄道総研）	清田・青木（Egalite）
女子	15	小俣・戸谷（立川市・八王子市）	菅原・平田（多摩市）
混合	61	桜井・斎藤（府中TC）	森田・森田（三鷹市）
OL	45	細本・栗山（三鷹市・小平市）	山口・山口（府中市）
Jハテラン	17	中島・戸田（日野市・八王子市）	武市・石井（東大和市・府中市）
ハテラン	15	村上・遠藤（稲城市）	石橋・川村（多摩風TC）
Gハテラン	16	吉村・石田（日野オフセット）	中込・上念（立川TC）
計	294		

表彰式 9月19日（日）昭和の森テニスコートにて実施

- 4. 第41回（春季）、第42回（秋季）OLリーグ結果（P34～35参照）

担当役員 高木大会委員長、石崎（ウォータークラブ）、大野（コニカミルタ）

大会結果

	1部		2部	
	優勝	準優勝	優勝	準優勝
41回大会	SPLASH	ケリンホール	ウォータークラブ	帝人
42回大会	SPLASH	インサダーク	日野自動車	コニカミルタA

表彰式 春季・秋季共に団体戦と一緒に実施

、 05年度役員人事)

会 長 石井康雄 (工がミル夕)

副会長兼理事長 吉村 正 (日野オレツト)

各担当副理事長

財務担当副理事長 中込好雄 (立川T C)

会員担当副理事長 萩原恒夫 (帝 人)

理 事 鈴木晃郎 (日野自動車) 理事長補佐

丸山 寛 (日野オレツト) 理事長補佐 (団体戦大会委員長)

武藤 功 (立川T C) 財務担当副理事長補佐 (ダブル大会委員長)

前川悦一 (工がミル夕) 団体戦大会副委員長

山崎美弘 (立川G T C) ダブル大会副委員長

桜井吉雄 (IHI 田無) 柏崎進一 (緑が丘T C)

内田広一 (オレツト) 齋藤慈子 (府中T C)

宮下幹夫 (IHI 瑞穂) 佐藤達郎 (東芝日野)

須貝明夫 (富士電機) 村松靖彦 (工がミル夕)

中原宏治 (日立中研) 望月和治 (多摩平ヶ丘)

市川則夫 (滝山中央T C) 高木敬子 (武蔵台T C)

市倉基善 (館ヶ丘T C) 安井康二 (東芝府中)

監 事 沖津博義 (百草T G) 平岡克英 (運研)

顧 問 市来惟明 (会員関連)

新 任 なし

退 任 なし

、 05年度チーム変更

・加入申請チーム

No	新規加入 団体(チーム)名	所在地	代表者	人員構成		チーム数	
				M	W	団体戦	OL
1	西国TC	府中市	原 慎	14	6	1	
2	ナチュラル V	日野市	倉持 一	12	7	1	
3	COOL-DRIVE	昭島市	木村 慶太	19	4	1	
4	TAMANIWA 2 2	国分寺市	本多 輝光	12	12	1	
5	Team 1 0 7	東村山市	村田 容子	0	20		1
6	BIT TC	多摩市	小林 秀幸	33	3	1	
7	アドバンスTC	八王子市	西野 裕	10	5	1	
8	Hit Point	武蔵野市	庄司 多孝	10	7	1	1
9	TEAM.K	東久留米市	小日向 啓	33		1	
合 計				143	64	8	2

No.9のTEAM.Kは立川ル・テニスAと同じメンバーが継続し新チームとして入会
理事会にてメンバー表を確認し団体戦の所属部は旧名称の部を引き継ぐこととした。

・OL 追加チーム：5チーム

羽沢倶楽部、ステインガー、ポチ、ベアーズB、八王子市役所B

・名称変更

日立デセ	日立 MD 事	東芝エン	IT サービス
フロム	フロム忠生	理学電気	リガク
七味唐辛子	スイ トポテト	HCR	変竹林
リターンズ	りたーんず		
立川ル・テニスA	TEAM.K (名称変更と同時に新規加盟扱い)		

・チーム廃止 : 日野自動車C

・退会 : なし

、 05年度事業計画

-1 第81回大会(春季)

大会期間 3月19日(土)~7月3日(日)

大会役員 丸山大会委員長:前川大会副委員長

委員:望月、市川、中原、柏崎、鈴木 各理事

大会要綱 別紙ドロー参照

登録名簿変更期限 3月18日(金) 萩原副理事長着

第82回大会(秋季)

大会期間 8月27日(土)~12月3日(土)

(決勝大会12/3)

大会役員 丸山大会委員長:前川大会副委員長

委員:佐藤、宮下、桜井、須貝、村松 各理事

大会要綱 実行委員会にて決定

登録名簿変更期限 8月26日(金) 萩原副理事長着

-2 第37回オープンダブルス選手権大会

大会期間 8月27日(土)~9月11日(日)予備:10月9日(日)

大会役員 武藤大会委員長:山崎大会副委員長

委員:中込、吉村、沖津、平岡、斉藤、市倉、高木、萩原、内田

安井、丸山、各理事

大会要綱 別紙参照(運営については実行委員会にて決定)

-3 第43回(春季)、44回(秋季)OLリーグ

大会期間 第43回：4月1日～7月3日(日)

登録名簿変更期限 3月18日(金) 萩原副理事長着

第44回：9月1日～12月3日(土)

(決勝大会12/3)

登録名簿変更期限 8月26日(金) 萩原副理事長着

大会役員 高木大会委員長

委員：宮崎(シチズン)、石崎(ウォーターゲート)

大会要綱 実行委員会にて決定

改正案	現 行
<p>(目的)</p> <p>1 本リーグは、多摩社会人庭球連盟(以下「連盟」という。)の加入団体に所属している職業を持つ女性部員でもっぱら仕事の休日のみテニスができる者(以下「OL」という。)で構成するチームによる大会を実施するなどにより、OL相互の親睦を図ると共に、OLの技術の向上に資する事を目的とする。</p> <p>(組織)</p> <p>2 本リーグは、連盟加入団体に所属するOLによるチームをもって組織する。但し、事情により2つ以上の加入団体が合併してチームを編成することを妨げないものとし、その際のチーム名は本規定3に基づく参加料納入チーム名とする。</p> <p>(登録及び参加料)</p> <p>3 本リーグに参加するチームはOLチームとして連盟に登録するものとし、連盟の定める会則に基づき所定の参加料を納入するものとする。</p> <p>(大会)</p> <p>4 本リーグは、原則として、春、秋の年2回の大会を実施するものとし、試合方法等は次のとおりとする。</p> <p>(1) 大会は、別に定める要領に基づき、3ダブルスで編成するチームよる団体戦で行うものとする。</p> <p>(2) OL登録の選手にあっては、春季及び秋季の一般団体戦の登録(参加)はできるものとする。</p> <p>(表彰)</p> <p>5 大会優勝、並びに準優勝チームは、表彰する。</p> <p>(大会役員)</p> <p>6 大会の役員は、連盟のOL担当理事及びOL登録チームの持ち回りにより行うものとする。</p> <p>(規定改正等)</p> <p>7 この規定の改正は、連盟会則に準じた手続きによる。</p> <p>なお、本規定によるもののほか、大会の実施その他OLリーグの運営に必要な事項は、OL登録チームの代表者で構成する会議等(以下「キャプテン会議等」という。)で要領を定めることができるものとする。</p>	<p>目的</p> <p>1 本リーグは、多摩社会人庭球連盟に加盟する団体(以下、加盟団体と呼ぶ)に所属している婦人部員の親睦を図ると共に、技術の向上に資する事を目的とする。OLとは仕事をもち、仕事の休日のみテニスができる女性。</p> <p>組織</p> <p>2、加盟団体に所属するOLをもって組織する。但し、事情により2つ以上の加盟団体が合併してチームを編成することを可とする。その際チーム名は会費納入チーム名とする。</p> <p>会費</p> <p>3、1チームにつき、年額3,000円とし、加盟団体の年会費と共に連盟に納めるものとする。</p> <p>大会</p> <p>4、3ダブルスで編成するチームよる団体戦で、原則として、春、秋の年2回とする。</p> <p>5、各大会の前には、キャプテン会議等を招集し、試合日程などの細目を打ち合わせ、また、組み合わせの抽選を行うこととする。</p> <p>6、試合方法は2部制(各部16チームをMAX)とし、各部内を抽選で4ブロックに分け予選リーグを行う。各ブロックの1位チームが決勝トーナメントに進出する。</p> <p>7、1部・2部は入れ替え制とする。</p> <p>1部ブロックの最下位チームは、次回2部へ降格する。</p> <p>2部ブロックの優勝チームは、次回1部へ昇格する。</p> <p>8、コートは、各チーム持ち回りを原則とする。</p> <p>9、大会役員は、OL理事とコート提供チームのメンバーからキャプテン会議において選出する。</p> <p>10、試合ボールは、各チーム持ち寄りとし、セットボールは、コート提供者へのお礼とする。</p> <p>11、OLは、春、秋の一般団体戦の参加を妨げない。</p> <p>表彰</p> <p>12、大会優勝、並びに準優勝チームには、賞品を贈呈する。</p> <p>【参考】</p> <p>略</p>

【参考】

- ・ 第1回2部制のブロック分けは、前2年度分の結果に基づき決定
- ・ コンソレトーナメントは2部制に伴い廃止
- ・ 各予選ブロック内の順位は下記の如くとする。
 - チームの勝利数（以下同率の場合）
 - 取得セット数
 - 取得ゲーム数
 - 対戦同士の結果

第79回(2004春季)大会結果

<総括>

日程とおり無事に終了、特に問題なし。
 毎年、表彰会場として使用していた「多摩会館」が閉鎖になった為、急遽、昭和の森テニスコート隣の「フォレストイン昭和館」最上階の「ファルコレスト」で表彰式を開催した。見晴らしが良くテニスコートが一望できるロケーションで大変盛り上がりました。しかし、残念なのは表彰式参加チームが半数程度で優勝、準優勝カップを後日郵送しました。各部、優勝・準優勝チームは必ず表彰式に参加して下さい。

部別 入賞チームと降格チーム

	優勝	準優勝	3位		降格			
1部	フェアリーFS	グランドスラム	緑ヶ丘TC A	昭島TC A	オーチャードA	南大沢TC A	IHI田無	立川ルーテニスA
2部	ローランギヤロス	浅間TC	滝山中央TC	SANTAMA	日本電子A	小金井市民A	町田市役所A	日野自動車A
3部	秋川TC A	ブリヂストンA	立川GTC B	青梅TC A	エニギルタA	こぶしTC	青梅TC B	東芝日野
4部	日野オフセット	日立デセ	八王子IV	鉄道総研A	立川TC B	平山台TC	東大和TC	富士電機A
5部	NEC府中	瀬川TC	ウッティ化ルTC A	HCR	気象衛星	百草TG A	JAE	HLTC
6部	立川ルーテニスB	NSW	帝人A	ベアーズFCB	東芝青梅	八王子ローンA	ウイング府中B	羽沢倶楽部B
7部	多摩TC B	RTC	調布フェローズ	昭島TC B	京王電鉄	町田市役所B	八王子市役所B	カシオA
8部	中大教職員	青梅TC C	立川中里	スティンガー	イステート立川	通信総研A	横河電機	日野自動車B
9部	ヴィネ	AtoZ	エニギルタC	カシオC	藤の台TC B	日本電子B	リバタイTC	カシオB
10部	チーム60	八王子高陵OB	武蔵村山市役所	沖電気B	SATC	ウッティ化ルB	エニギルタD	DEC TC
11部	多摩風TC	藤の台TC C	Garden	CHANCETC	多摩平クラブ	新都市公社C	日本HP B	喜平TC B
12部	ヤマヒロ	50's倶楽部	TCホチ	高幡TC B	HOYA SP	リオン	日本分光	オリンパスB
13部	Grampus	ウエストサイドB	ジョイフルトン	SNC	シズン時計C	テセック	新都市公社B	イステート立川B
14部	AlmaFTT	南大沢TC C	帝人B	デライトTC	コレJB	運研C	チームCC	-
15部	アフターTC	e-TC	ParBoy's	リターンズ	-	-	-	-

第80回(2004秋季)大会結果

<総括>

日程とおり無事に終了、特に問題なし。
 昭和の森での決勝戦は、残念ながら1チームが棄権しましたが、白熱した試合が多く
 特に1部の決勝戦は見ごたえがありポイント4-4でゲーム数での勝敗決定となりました。

部別 入賞チームと降格チーム

	優勝	準優勝	3位		降格			
1部	フェアリーFS	ロランキヤロス	ヘアーズFC A	グランドスラム	SANTAM	高幡TC A	昭島TC A	滝山中央TC
2部	Team TODAY	立川 ル・デンスA	オーチャードA	アルファ	秋川TC A	ウイング府中A	立川GTC B	ブリヂストンA
3部	GC	鉄道総研A	小金井市民A	町田ロイヤル	運研A	八王子IV	ウォーターTC	日立テセ
4部	羽沢 倶楽部A	HCR	シズン時計	瀬川TC	Kフレンズ	たまKAN	青梅TC B	東芝日野
5部	オークTC	エニガミルタB	帝人A	富士電機A	立川 ル・デンスB	立川GM	東大和TC	府中TC B
6部	多摩TC B	F.MATE	多摩TC A	昭島TC C	東芝 エンジニアリング	小金井市民B	JAE	多摩貝取TC
7部	ステインガー	リース 72	中大教職員	一光	緑ヶ丘TC B	八王子ロソナ	立川中里	羽沢倶楽部B
8部	ヴィネ	カシオC	エニガミルタC	AtoZ	日立中研	町田市役所B	科技大OB	カシオA
9部	チーム60	Egalite	フォーラス	一本杉TC	エステート立川	多摩 インジェルスB	横河電機	日野自動車B
10部	秋川TC B	藤の台TC C	Garden	立川ル・デンスC	TTC	日本電子B	東京ガス	カシオB
11部	ヤマヒロ	TCポチ	イーストウエスト	50's倶楽部	JRシステム	ウッティ化ルB	グリーンイダー	ルネサス武蔵B
12部	ジョイブルドン	SNC	Grampus	ウエストサイドB	日本電子C	館ヶ丘TC B	IHI瑞穂	日野自動車C
13部	AlmaFTT	フロム忠生	エニガミルタE	南大沢TC C	(HOYASP)	テライトTC	日本分光	百草TG B
14部	アフターTC	e-TC	リターンズ	Chips	(TMT-C)	HOYA八王子	理学電機	-
15部	チームC・C	ラケットース	JVC八王子	七味唐辛子	-	-	-	-

()内は残留

第41回 多摩社会人OLリーグ (春季大会) 結果

2004年度OLリーグ 春季大会予選結果

ブロック	1位	2位	3位	4位	5位	予選実施日	場所
1-A	グリーンボール	インザダーク	日立デセ	立川GM		5月15日(土)	吉祥女子
1-B	シチズン時計	SATC	日本HP	NEC府中		4月24日(土)	NEC府中
1-C	マヒマヒ	50,Sクラブ	高幡TC	FLATTERS		5月15日(土)	明治生命
1-D	S P L A S H	ベア-ズ	プリティウーマン	日野自動車		4月18日(日)	昭和の森
2-A	ウォータークラブ	日立中研	ウエストサイドクラブ	アネルバ	コニカミノルタB	5月23日(日)	コニカ日野
2-B	Tennisu Team Garden	チャンス	フロム	F.メイト		4月25日(日)	町田工業
2-C	ITC	カシオ計算機	コニカミノルタA	沖電気		5月22日(土)	日野自動車
2-D	帝人	ラケットーズ	八王子市役所	武蔵台TC		5月8日(土)	帝人

<入替え>

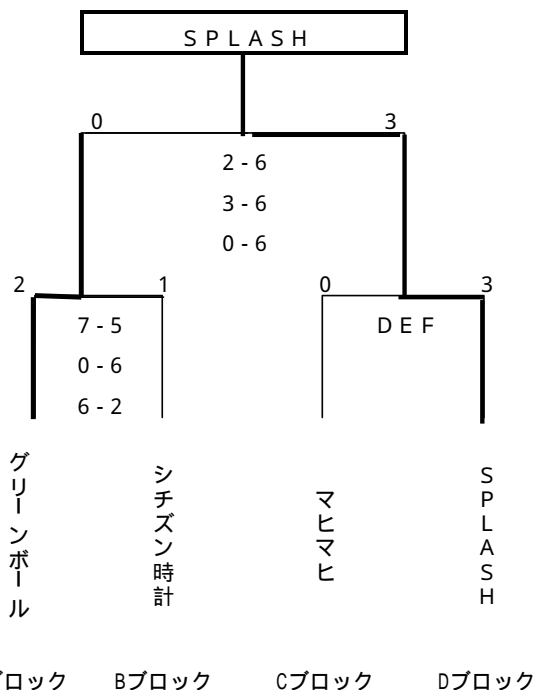
- 1部昇格チーム 秋季は1部ブロック
 (2部優勝チーム) ウォータークラブ、Tennisu Team Garden、ITC、帝人
- 2部降格チーム 秋季は2部ブロック
 (1部最下位チーム) 立川GM、NEC府中、FLATTERS、日野自動車

2004年度OLリーグ春季決勝大会結果

1部 決勝トーナメント

試合日	2004.6.26(土)
時間	9:00~
場所	シチズン時計総合グラウンド

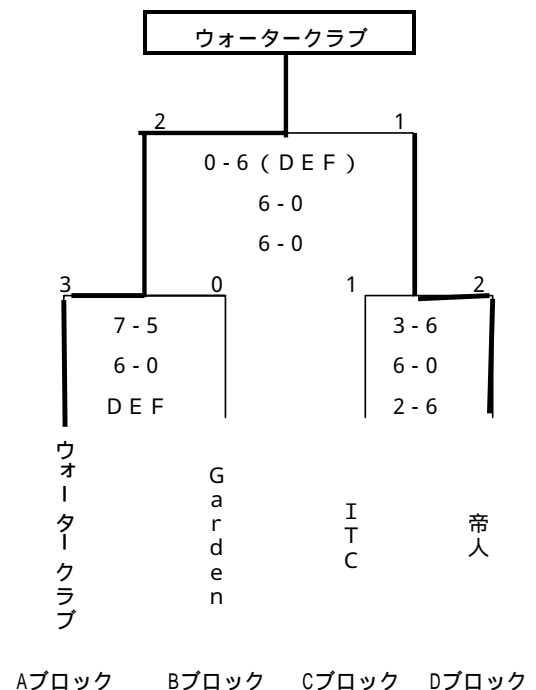
優勝チーム S P L A S H
 準優勝チームグリーンボール



2部 決勝トーナメント

試合日	2004.6.19(土)
時間	9:00~13:00
場所	帝人コート

優勝チーム ウォータークラブ
 準優勝チーム 帝人



第42回 多摩社会人OLリーグ(秋季大会)結果

2004年度OLリーグ 秋季大会予選結果

ブロック	1位	2位	3位	4位	5位	予選実施日	場 所
1-A	S P L A S H	シチズン時計	日本HP	50 S		H16.11.13	シチズン時計
1-B	マヒマヒ	S A T C	プリティウーマン	日立デセ		H16.11.14	明治生命コート
1-C	インザダーク	ITC	帝人	Garden		H16.11.7	帝人コート
1-D	ベアーズ	高幡TC	グリーンボール	ウォータークラブ		H16.10.16	吉祥女子コート
2-A	コニカミノルタA	NEC府中	日立中研	ラケットーズ	八王子市役所	H16.11.3	コニカ日野コート
2-B	武蔵台	ウエストサイド	沖電気	立川GM		H16.11.8	沖電気コート
2-C	カシオ計算機	F.メイト	チャンス	アネルバ		H16.11.7	フィルコンコート
2-D	日野自動車	フラッターズ	フロム	コニカミノルタB		H16.10.31	日野自動車コート

<入替え>

- 1部昇格チーム 第43回春季大会は1部ブロック
 (2部優勝チーム) コニカミノルタA、武蔵台、カシオ計算機、日野自動車
- 2部降格チーム 第43回春季大会は2部ブロック
 (1部最下位チーム) 50 S、日立デセ、Garden、ウォータークラブ

2004年度OLリーグ秋季決勝大会結果

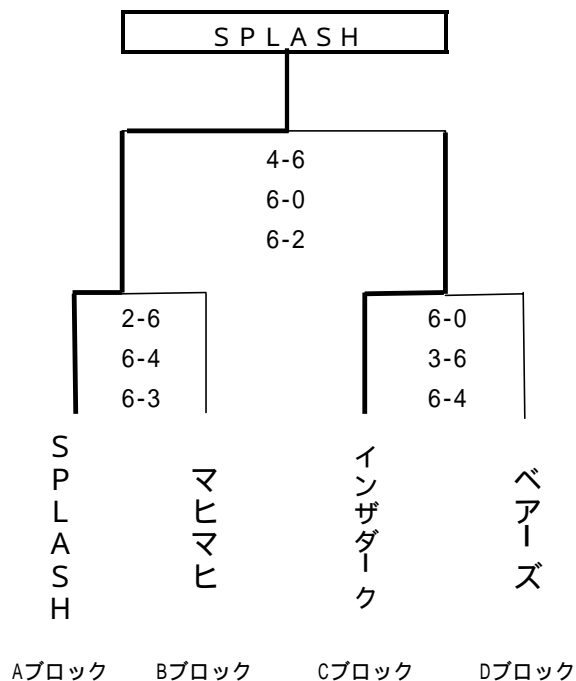
1部 決勝トーナメント

試合日 2004.12.4(土)

時間 8:30~12:15

場所 昭和の森テニスコート

優勝チーム S P L A S H
 準優勝チーム インザダーク



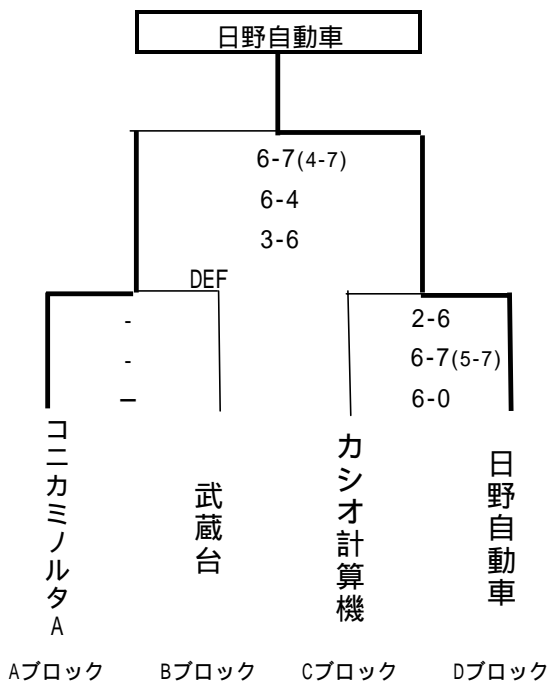
2部 決勝トーナメント

試合日 2004.12.4(土)

時間 8:30~12:15

場所 昭和の森テニスコート

優勝チーム 日野自動車
 準優勝チーム コニカミノルタA



多摩社会人庭球連盟会則

05.3.12

第一章 総 則

- 第1条 本会は、多摩社会人庭球連盟と称する。
- 第2条 本会は、多摩地区における社会人庭球の普及発達と、技術の向上を目途とし、併せて相互の親睦を図り、スポーツ精神の振興に資することを目的とする。
- 第3条 本会は、前条の目的を達成する為、総会または理事会の決議を経て、別に定める事業を行う。
- 第4条 本会は、第二章に定める加入団体をもって組織する。
- 第5条 本会は、事務所を多摩地区内に置く。

第二章 加 入 団 体

- 第6条 本会の加入団体は次のとおりとする。
東京都多摩地区内に活動の拠点を有し、本会が定めた事業を多摩地区内で実施可能な、事業所同好会、地区居住者で組織する同好会、及び会員制クラブに所属する有志チーム、並びに、これらに準ずるテニス団体で、総会の決議により加入団体を承認されたもの。
- 第7条 団体戦及びOLリーグ出場者は、それぞれの大会開始日程までに会員登録をすませた者とする。(団体戦 10名以上/チーム、OL 6名以上/チーム)
ただし、学生は登録することができない。
ダブルス選手権出場者は加入団体に所属しない社会人の参加を拒まない
- 第8条 本会に加入を希望する団体は、会長宛てに所定の事項を記入した書類で申請しなければならない。
なお、退会をする団体は、理由を明らかにして会長まで届出なければならない。
- 第9条 新規加入団体は、加入を認められた時点で入会金及び1年間の会費及び事業参加料を、継続加入団体は、前年度末の総会開催日までに1年間の会費及び事業参加料を納入しなければその年度の事業参加することはできない。
- 第10条 新規加入団体の入会金は10,000円、年間一律会費は10,000円とする。
但し、団体戦参加1チーム当り年間5,000円、OLリーグについては3,000円の参加料を負担しなければならない。
- 第11条 払い込みの入会金、会費及び参加料は、理由の如何に係わらず一切返却しない。
- 第12条 加入団体で、本会則に違反するか、本会の対面を傷つける行為、或いは結束を乱す行為があったと認められるとき又は会費を2年間以上に渡って払い込まなかった時は、理事会の決議により除名することができる。

第三章 事 業

- 第13条 本会の事業は次のとおりとする。
- (1)春季 及び 秋季団体戦
 - (2)ダブルス選手権
 - (3)O . Lリーグ
 - (4)総会で決定した(1)~(3)以外の事業

第四章 役員

- 第 14 条 本会に次の役員を置き、任期は 1 年とする。但し、再任は妨げない。
- | (役職) | (人数) |
|------|----------------------|
| 会長 | 1 名 |
| 副会長 | 4 名(以内) |
| 理事長 | 1 名 |
| 副理事長 | 4 名(以内) |
| 理事 | 40 名(以内、理事長、副理事長を含む) |
| 監事 | 2 名 |
| 顧問 | |
- 第 15 条 会長は、会員のうちより総会において推挙し、本会を代表して会務を統理する。副会長は、会長が推挙し、総会がこれを承認する。副会長は、会長を補佐し、理事会において坦務を決定する。
- 第 16 条 理事、監事は、総会において会員の中から推挙し、会長が委託する。理事長、副理事長、各補佐は、理事の互選により選出し、会長が委託する。理事は、総会の決議を執行し、会務を処理する。監事は、本会会計を監査し、総会、理事会にて報告する。
- 第 17 条 会長、副会長退任者は総会の決議により名誉会長又は会員に推戴することができる。

第五章 総会

- 第 18 条 定時総会は、毎年 1 回 3 月第 2 週から 4 週の土曜、日曜又は祝日に開催し、次の議案を審議する。
- (1) 当事業年度の収支決算並びに事業報告
 - (2) 翌事業年度の事業計画及び予算
 - (3) 役員に関する事項
 - (4) その他
- 総会の日時、会場、議案は 2 月末の土曜日までに、各団体役員宛てに前もって通知する。
3 月初めまでに通知の無い団体は会長又は総括副理事長まで確認されたい。
臨時総会は、会長がその必要を認めるとき、議題を示して開催する。
- 第 19 条 総会は、加入団体の過半数以上の出席がなければ開催することはできない。
- 第 20 条 総会への出席は、加入団体にとって欠かすことの出来ない要件である。各団体より 1 名以上（代表者又は代理者）の出席を義務とする。欠席団体は事情の如何に拘らず 春の団体戦に参加できない。
- 第 21 条 総会の議事は、出席会員の過半数をもって決し、可否同数の場合は議長が決する。

第六章 理事会

- 第 22 条 定例理事会は、毎年 1 回 1 月に開催し、次の議案を審議する。
- (1) 当事業年度の収支決算並びに事業報告
 - (2) 翌事業年度の事業計画及び予算
 - (3) 役員に関する事項
 - (4) 事業運営 / 会則の見直し
 - (5) 新規加入団体 / 脱会の報告、審議
 - (6) その他
- 議事を決定する必要があるときは、出席理事の 3 分の 2 以上の賛成により決する。

第 23 条 理事長は、理事会の決定事項を速やかに会長に報告し承認を受けなければならない。

第七章 事業年度

第 24 条 本会の事業年度は、4月1日より翌年3月31日迄とする。

第八章 附 則

第 1 条 本会則は、1985年4月1日より施行する。

第 2 条 本会則は、総会の議決によらなければ改訂できない。また、改訂内容については次年度総会に下線を施した会則を提出しなければならない。

第 3 条 O.L.リーグに関する規定は、別に定める。

第 4 条 団体戦試合に関する規定は、1988年3月25日制定の実施規則による。

第 5 条 2003年3月15日一部改定

第 6 条 2004年3月13日会員資格を一部改訂
年号を西暦に変更

備考：下線項目は前年度総会での決定事項による改正内容

<会費振り込みについて>

昨年同様、今年度の会費は下記口座へ入金をお願い致します。

なお、入金の期限は4月末日としますのでよろしくお願い致します。

振込者は、団体名をカタカナ12文字以内で最初にくるように示し、かつ参加チーム数を明記して下さい(A/B/C,OL)。

入金口座：UFJ 銀行 国立支店

口座番号：3784239 普通預金 多摩社会人庭球連盟

責任者 中込 好雄

A チーム参加 : 15,000 円 (年会費 10,000 円、団体戦参加費 5,000 円)

A,B チーム参加 : 20,000 円 (年会費 10,000 円、A+B: 10,000 円)

A,B,C チーム参加 : 25,000 円 (年会費 10,000 円、A+B+C: 15,000 円)

OL リーグ参加 : 1 チームにつき 3,000 円加算 (OL リーグ参加団体のみ加算)

新規加盟チーム : 入会金 10,000 円加算

多摩社会人庭球連盟一般団体戦試合実施規則

昭和 63 年 3 月 25 日 制定
平成 8 年 1 月 20 日 一部修正

本規則は、秩序正しい試合、スムーズな日程進行、何にも増して参加するプレーヤー全てが、「素晴らしいテニスの出来る環境作りに寄与する」ことを目的として制定する。本規則以外の、競技ルールは日本テニス協会規則集「コートの子」最新版による。

第 1 条 「部」の構成と再編成

- 1、参加チームを試合実績により順位付けし、16 チームずつに分け、各々を「部」と呼ぶ。これを上位より順に第 1 部、第 2 部...と称する。
- 2、「部」は大会終了毎に、試合実績により、「部」内の半数の入れ替えを行って再編成する。入れ替えは、第 1 部を除く各部の上位 4 チームが昇部し、最下位の部を除く各部の下位 4 チームが降部する。
- 3、新規加入チームは、最下位の「部」に入部する。

第 2 条 開催時期、試合形式

春季（4～7月）及び秋季（9～12月）の 2 大会を開催する。
大会中の詳細日程は、各季大会実行委員会が、毎年定める。
試合形式は、各「部」毎の部内トーナメント方式とする。

第 3 条 大会実行委員会

当年度の総会に於て、連盟役員の中より各季大会の実行委員長及び委員を選出する。
委員会は、次の事を行う。

- ア) 委員長は、委員会及び担当大会を総括する。
- イ) 大会中の各「部」担当委員を互選し、各部内の連絡と試合日程の管理を行う。
- ウ) 抽選によりドロー表を作成し、各団体に配付する。又、大会終了後その結果を報告する。
- エ) 試合日程（各ステージの日程）を決定する。
- オ) 試合用ボールを指定する。
- カ) 決勝大会の運営と、各部の優勝、準優勝チームの表彰式典を行う。
- キ) その他、大会運営に関する諸規程を作成する。

第 4 条 コート、試合日、試合ボール

コート及び試合日は、試合毎に対戦チーム間で話し合いを行って定める。

「コート提供可」として登録してある団体チームを甲、他を乙として下記のガイドラインを設ける。

- 1、甲同氏が試合を行う場合は、双方が話し合い（不成立の場合はトス）で、いつ、どちらのコートで試合を行うかを決定する。ボールの費用は、双方で折半する。但し、定められた期間中に、一方が一度もコートを提供できない場合は、本条 2、項に、又、双方が一度もコートを提供できない場合は、本条 3、項に準ずる。
- 2、甲と乙の対戦の場合は、甲は出来るだけ乙の希望日程を入れて、甲のコートで試合を行う。この場合、乙がボール 12 缶（2 ケ入り）を提供する。但し、どうしても甲乙間の日程調整が出来ない場合（I）及び甲が定められた期間中に一度もコートを提供出来ない場合（II）は、本条 3、項に準ずる。この場合、（I）では、コートフィーは乙が負担し、ボールの費用は折半する。（II）では、全ての費用を双方で折半する。
- 3、乙どうしが試合を行う場合は、双方で第三者のコートを捜し、日程に遅れが生じないよう試合を行う。コートフィー及びボールの費用は双方で折半する。
- 4、上記 1、項と 2、項の場合の使用済みボールは、コート提供者のものとする。

第 5 条 試合構成及び試合方法

- 1、出場資格は、当年度の連盟会員登録を行った者とする。
- 2、試合は、原則として、一日で終了するよう計画する。
- 3、3 シングルス、5 ダブルスの 8 試合とし、同一人がシングルス、ダブルスの各一試合に出場出来る。従って、チームの構成は、最大 13、最少 10 名となり、最少の 10 名が揃わないチームは不戦負となる。

- 4、試合開始前にオーダーを交換し、その全員がコートに揃っていることを原則とする。
但し、事前に双方が話し合いで了解している場合は、一部の遅刻を認める。
- 5、オーダーの組み方は、実力の上位より、(シングルス) S 1、S 2、S 3、(ダブルス) D 1、D 2、D 3、D 4、D 5とする。
試合順序は、原則としてS 3、S 2、S 1、D 5、D 4、D 3、D 2、D 1とする。
- 6、シングルスは、8ゲームマッチ(8ゲームオール時12ポイントタイブレーク)
ダブルスは3セットマッチ(各セット6ゲームオール時12ポイントタイブレーク)を原則とする。
- 7、審判は、セルフジャッジを原則とするが、双方からチェアアンパイアー、ラインズマン等を公平に出し合って、行っても良い。
- 8、勝敗は、8試合中の取得マッチ、セットマッチ、ゲームの順で優先決定する。
これらが全て等しいときは、D 1ダブルスの勝ったチームの勝ちとする。
- 9、試合の実施、中断、続行、中止等の判定はコート提供チーム(第三者コートの場合はトスにて決定)が行うものとする。
- 10、自然条件(天候、日没等)により、試合続行不能となった場合は、既に勝敗の定まったマッチは有効とし、残りの試合については再試合とする。
但し、残り試合の選手構成は未出場選手での再オーダーを可とする。

ローカル ルール

第6条

試合中のいわゆる「けいれん」による試合中断は、一回に限り最長3分間を認める。

第7条 例外事項の処理方法

各ステージの試合は、大会実行委員会の決定した期間中に終了することを原則とするが、大会後に、出来るだけ「後味の悪さ」を残さぬ為に、下記の事項を取り決める。

ア) 試合予定日が日程の最終日で、天候の都合で試合が消火できなかった時は、トスで勝敗を決する。

イ) チーム間の連絡、話し合いの不徹底(双方の勘違いを含む)等、何らかの原因で、期限までに試合が消化出来なかった時は、トスで勝敗を決する。

ウ) 規定外の事例が発生したときは、全て各「部」担当委員又は、大会委員長の判定に委ねる。
この場合、判定に対し不服の申し立ては出来ない。

第8条 規則の改訂

本規則の改廃は、各団体からの申し出により、理事会で妥当と認められた時に行い、その旨を直ちに、総会で審議し全加盟団体に周知徹底する。

以上

多摩社会人OLリーグ大会要領

1994.1.15 制定
2003.8.15 全部改正施行
2005.1.29 一部改正施行

第1 大会役員について

多摩社会人庭球連盟OLリーグ規程(以下OL規程という。)に基づく役員役割、選出方法は、次のとおりとする。

1 大会委員長及び大会委員

当該年度のOLリーグ大会を総括する者として大会委員長を、大会委員長を補助する者として大会委員2名を置く。

2 大会委員長の選出

大会委員長は、当該年度の多摩社会人庭球連盟総会(以下「総会」という。)において、連盟役員の中より選出する。

3 大会委員の選出

大会委員は、当該年度の多摩社会人OLリーグ登録チーム順(以下「登録順」という。)のチームから推薦のあった者を主幹事とし、前年度主幹事だった者を副幹事とする。

4 登録順

前項に規定する登録順は、当該年度の「多摩社会人OLリーグ代表者名簿」(以下「OL名簿」という。)におけるチーム名の記載順とし、当該年度に新規加入チームが複数ある場合は、多摩社会人のチームコード順とする。

ただし、登録順に該当するチームが当該年度に大会参加を休止する場合は、OL名簿の次の順番チームが繰り上がるものとし、休止チームは、大会参加を再開する年度に登録順のチームになるものとする。

5 大会委員の役割

大会委員は、OLリーグ大会の開催に関する次の事項を行うものとする。

- ア OLリーグキャプテン会議等の招集及び会議運営
- イ 当該年度のOLリーグ代表者名簿の作成配付及び大会委員長等への報告
- ウ ドロー表作成に係る抽選及びドロー表の作成配付
- エ 大会終了後の結果表の作成配付及び大会委員長等への報告
- オ 決勝大会の運営及び各部の優勝・準優勝チームの表彰式典の実施
- カ その他、大会委員長から大会運営に関し要請された事項の実施

第2 大会の組み合わせ

OL規定に基づく大会は、次のとおり実施するものとする。

1 部の構成

(1) 参加チームを、第1部及び第2部に分け、それぞれの部ごとに試合を行うものとする。ただし、第1部は16チームで構成される上位部とし、第2部は第1部に属さないチーム全てとする。

(2) 参加チームが属する部は、直近の大会で属した部及びその大会の試合実績による入れ替え制により決めるものとする。ただし、新規加入・休止等で直近の大会の試合実績がない場合は最下位部に属するものとする。

(3) 前2項の規定にかかわらず、第2部に属するチームが28チーム以上となる場合には新たに第3部を設けるなど、最下位部に属するチームが28チーム以上になる場合には最下位部の数字に1を加えた部を新たに設けるものとする。この場合、直近の大会の試合実績(試合実績によるのが難しいと認められる時は抽選)に基づき、従来最下位部だった部を16チームからなる部とし、新たに設ける最下位部は、第1部から従来最下位部だった部までのチームに属さない全てのチームとする。

(4) 部に属するチームの上位部と下位部の入れ替え制は次によるものとする。

ア 上位の部のブロックの最下位4チームは次期大会を下位の部に降格、下位の部のブロック1位4チームは、次期

大会を1部に昇格するものとする。ただし、最下位の部のブロック1位チームが4チームを超える場合は、決勝トーナメントの成績による上位4チームが昇格するものとする。

イ 上位ブロックのチーム数が16に満たない場合の上位・下位の入替の特例

脱退・休止などにより、上位部のチーム数が、下部から昇格するチームを含めて、16チームに満たない場合は、下部に降格することとなるチームから上位部のチーム数が16チームに達する数を限度として降格させないことができるものとし、降格しないチームは各部ブロック分け抽選時に、抽選で決定する。

2 試合形式

各部は、抽選で4ブロック（部を構成するチーム数が19を超える場合はブロックを増加する。）に分け、リーグ戦方式による予選リーグ、各ブロックの1位チームによるトーナメント方式による決勝トーナメントを行う。

3 春季大会予選リーグ

当該年度の総会の開催前までに、前年度秋季大会の各部優勝・準優勝チームの各代表、前年度大会委員長及び大会委員により、各部ブロック分け抽選を予め行うものとする。ただし、総会に欠席したチームは、原則として春季大会に出場できないものとする。

4 秋季大会予選リーグ

秋季大会予選リーグの各部ブロック分け抽選は、大会委員長が定める日までに、当該年度の春季大会各部優勝・準優勝チームの各代表、大会委員長、大会委員が行うものとする。

5 決勝トーナメント（春季・秋季）

決勝トーナメントは、各部4ブロック制（A・B・C・D）とし、各部ごとに準決勝はA対B及びC対D、決勝は準決勝の勝者チームで対戦する。ただし、部のブロック数が4ブロックを超える場合は、準々決勝を行うものとし、対戦者は抽選で決定する。

第3 各ブロック内の試合日程調整及び試合結果報告

1 大会期間

春季及び秋季のOL大会は、原則、次のとおりとする。ただし、天候等の事情により、大会開催が困難と大会委員長が認める場合は、別途調整を行うことができるものとする。

ア 春季大会

予選リーグは、4月1日から5月末日までとし、決勝トーナメントは、6月1日から大会委員長が別途指定する日までとする。

イ 秋季大会

予選リーグは、9月1日から11月第3回目の日曜日までとし、決勝トーナメントは、大会委員長が別途指定する日までとする。

2 試合日程

試合日程は、各季の大会期間中に行うものとし、各部ブロック内で実施場所・集合時刻・試合開始時刻・予備日・雨天の連絡方法を調整し、その結果を大会委員の主幹事に報告するものとする。

ア 春季予選リーグは、各部ブロック内で日程調整を行い、大会委員長が別途定める日までに、各部ブロック分け抽選の際大会委員長の指名を受けた各部ブロック代表が、大会委員の主幹事に報告を行う。

イ 春季決勝大会は、各部ごとに日程調整を行い、大会委員長が指定する日までに、各部「Aブロック」内優勝チームの代表が大会委員の主幹事に報告を行う。

ウ 秋季予選リーグは、ブロック内代表が日程調整を行い、9月第2週目までに大会委員の主幹事に報告を行う。

なお、ブロック内代表は、特に申し出がない限り、ブロック分けの時に抽選により選出する。

エ 秋季決勝大会の日程は、原則、総会で決定する。

3 試合結果

試合結果は、勝者チームが試合実施後2日以内に次の事項について、大会委員の主幹事に報告するものとする。

ア 試合日程（実施年月日、場所、使用時間）

イ 対戦表及び成績（対戦ごとの取得セット数、取得ゲーム数、ブロック内順位表等）

4 予選ブロック内の順位

予選ブロック内の順位付けは、勝利数、取得セット数、取得ゲーム数、対戦同士の結果、D1の勝者の順で、先に優位なチームを上位チームとする。

第4 試合要領

1 出場資格は、多摩社会人庭球連盟の加盟団体が当該年度のOLリーグ参加選手名簿の登録を行った者とする。なお、2つ以上の加盟団体が合同OLチームを編成して参加する場合は、当該OLチーム名で参加選手登録を行うものとする。

ただし、春季大会は、3月末日までに、秋季大会は、8月末日までに各々大会委員の主幹事に変更登録が提出された場合には出場資格を有する。

2 試合は3ダブルス（3D）とし、「D3 D2 D1」の順で行うが、ランキング順によらないことができる。

3 試合前のウォームアップは原則として5分以内とする。

4 ゲームは6ゲーム1セットマッチ6-6、12ポイントタイブレークとする。

5 審判は、原則としてセルフジャッジとする。

6 チーム編成は3D（6名以上）を原則とするが、最小4名でも大会参加できる。

なお、メンバーが4名又は5名の場合、そのチームは、第1試合（D3）の1セットをデフォルト負け（ゲーム数は0-6）とし、D3はエキシビジョンマッチとして行う。

また、対戦チームが共に2Dの時はエキシビジョンマッチは行わず、1勝1敗となった場合は、取得ゲーム数、対戦同士の結果、D1の勝者の順で、先に優位なチームを勝利チームとする。

7 試合球は、ブリジストンXT8又はダンロップフォート（黄）とし、各チーム3缶ずつ持ち寄り、セットボールはコート提供チームのものとする。

8 試合開始時刻前にオーダーを交換し、その全員がコートに揃っていることを原則とする。

ただし、事前に双方が話し合いで了解している場合は、一部の遅刻を認める。

9 試合の実施、中断、続行及び中止等の判定はコート提供チーム（第三者コートの場合は多数決等）が行うものとする。

10 自然条件（天候、日没等）により、試合続行不能となった場合は、既に勝敗の決まったマッチは有効とし、残りの試合については再試合とする。

ただし、残り試合の選手構成は未出場選手での再オーダーを可とする。

11 試合予定日が日程の最終日で、天候等の事情により消化できなかった場合は、トスで勝敗を決定するものとする。

12 本要領以外の競技ルールは日本テニス協会規則集「コートの友」最新版による。

第5 協力

1 参加するプレーヤー全員が、円滑な大会運営に協力することとする。

2 参加チームの代表は、秩序正しい試合、スムーズな日程進行等、円滑な大会運営に資するため、チーム内の調整に努めるとともに、大会役員に積極的に協力することとする。

第6 その他

1 キャプテン会議は、必要に応じてメール等の通信手段を活用して開催に代えることができるものとする。

2 各チーム代表者に変更（氏名・連絡先等）があった場合は、速やかに大会委員の主幹事に連絡するものとする。

3 この要領で定めるほか、大会の実施に関する事項は大会委員長が定める。

4 この要領の改正は、原則としてキャプテン会議等で審議決定する。

（下線：H17.1.29 改正箇所）